

公表

事業所における自己評価結果

【保育所等訪問支援】

事業所名		つくしんぼ教室		従業員数 27 回収数 27		公表日	2026年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 ・ 整備 ・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	18	4	・保育所等訪問支援の際に教具教材を使用していない。	・特に教具教材を使用していないため、必要であれば検討したい。 ・訪問支援に使用する場合の教具教材を専用に用意はしていないので、今後訪問先園にご意見を伺って必要があれば用意していきます。 ・現在は、日常使用している教材を持参することが多いです。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	26	1	・保護者が必ず同行することで、現場視点で様子が分かるので、人数も含め適切です。 ・保育士、心理士以外にも行けるとよいのではないかと。	・現在は心理士と保育士が訪問していますが、必要に応じてPT、OT、STの専門職も参加して児の理解を更に深めていきたいと思っています。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	26	1		・スタッフミーティング等で園の現状や課題を共有し、実践・評価を確認していますが、職員一人一人が当事者として参画の意識を持てるように改善をしていきます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	1		・保護者向け評価表を確認する必要があるか。 ・保護者の皆様や関係の方から直接意見を伺う窓口がありますが、より多くの意見を伺うためにお手数をおかけしますが、アンケートを実施して結果を大事に捉えたいと思っています。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	26				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	19	2		・第三者評価は実施していません。検討してまいります。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	26				
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	27		・個別面談の機会を設けている。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	27		・心理士と保育士で支援内容を共有し、意見交換を行いながら支援計画につなげている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	15	1			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	26	1	・職員間で必ず周知している。	・保育所等訪問支援計画と結果を職員に周知していますが、支援に活かし切るといふ点において更に踏み込んだ共有を行う必要があると思います。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	25	1		・保育所、幼稚園における行動をアセスメントする際は、フォーマル評価はなく、これまでの経験にたよっているため、標準化ツールがあれば参考にしたい。 ・現在は保護者の意見や幼稚園・保育園からの情報や行動観察でアセスメントを行い、適応や発達状況の確認を行っています。更に本来持っている能力を活かす等に必要である場合は標準化ツールの検討を行っていきます。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	24	2		・ガイドラインを確認する必要あり。 ・保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえ、子ども本人に対する支援と園の職員に対する支援と保護者に対する支援について具体的な支援内容を進めていくようにしています。今後は実施回数等を含めてよりよい支援の提供が課題です。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	26	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	27		・担当職員間で支援について共有し、行っている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	26		・職員間で振り返りを行い、今後の支援につなげている。 ・行った当日に必ず共有している。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	24	1			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	26	1			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	26	1				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	26			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	26			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	26			・ケースにより、小学校を訪問して支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	24	1		・医師相談の機会等にこのケースや保育について相談、助言等を受けています。研修（早期発達支援等）やケース検討会にも定期的に参加しています。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	18	4		・支援センター主催等の研修や会議、協議会に参加しています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	26			・園での様子など保護者からの情報と訪問時の様子を踏まえ、課題など支援について共通理解を踏まえている。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	23	2		・保育の中で助言などは行っているが、研修会などではなく、あったら良いと思う。 ・子ども若者支援課主催のペアレントトレーニングを年2回実施・募集をしています。そのほかに保護者のニーズに合わせた情報提供を更に心がけます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	25			・マニュアルがあると、よりわかりやすいです。 ・園のしおりや要覧にまとめ、入園児と進級時にご案内しています。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	24			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	26	1		・こどもの意思の尊重について改めて職員間で共有して取り組んでいきたいと思っています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	26			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	27			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	19	3		・保護者会はないが、行事への家族参加や給食後のホットタイムで保護者同士の交流の時間を設けている。 ・保護者の懇談の機会を充実させたり、専門職と話す機会を提供できるように工夫します。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	26			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	22	1		・月のおたよりやプリントで行事予定等をお知らせしていますが、HPやSNSの活用については未定です。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	27			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	27			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	27			・電話相談などの対応をしている。 ・随時電話相談を受け付け、年間回数ずつ保育参観や、連携会議、公開保育等の機会を設けて連携を図っています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	24			・保訪先でじっくりと話す時間を設けて下さる園が増えています。 ・当日に行っている。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	27			・フィードバックの機会を設けている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	27			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	27			・訪問前から訪問後も、つながりを持ち、支援の共通理解を深めながら信頼関係を築けるようにしている。

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	24	1		・各マニュアルに基づいて月に1回以上の訓練や所属する会館、センターの防災訓練を行い、必要な品の準備や安全点検を定期的に行っています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	23			・各マニュアルに基づいて月に1回以上の訓練や所属する会館、センターの防災訓練を行い、必要な品の準備や安全点検を定期的に行っています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	25			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	25			・研修機会のほか、毎月の職員会議で定期的に振り返りを行っています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	23			